平成19(2007)年12月1日
第17号

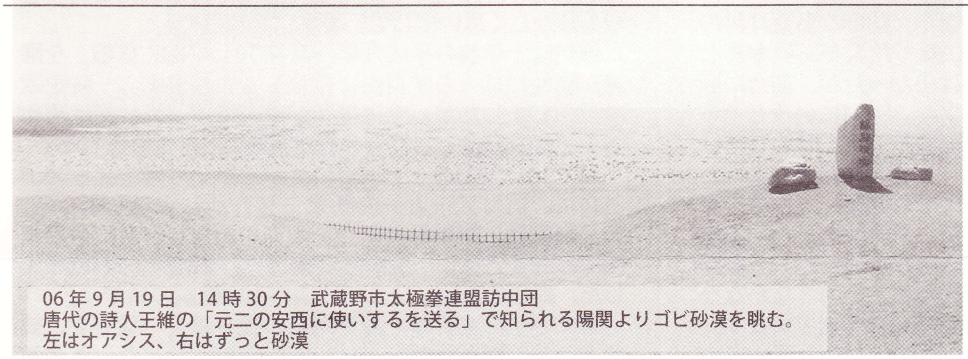
早稲田大学
武蔵野稲門会報

WASEDA BEAR ©2000 WASEDA UNIVERSITY

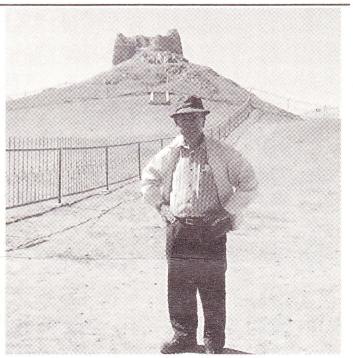
発行 武蔵野稲門会
武蔵野市西久保1-47-6
轟　常弥
FAX 0422(54)3122

元二の安西に使するを送る

中村未明(昭30・法)



06年9月19日　14時30分　武蔵野市太極拳連盟訪中団
唐代の詩人王維の「元二の安西に使いするを送る」で知られる陽関よりゴビ砂漠を眺む。
左はオアシス、右はずっと砂漠



渭城の朝雨　堅塵を浥す
客舎　青々　柳色新たなり
君に勧む　更に尽せ　一杯の酒を
西のかた　陽関を出ずれば故人無からん

作者　王　維（六九九～七五九年）

ご存知の方も多いと思うが、この詩は、元二が安西に使者として旅立つのを送って、渭城の町まで来た仲間が、前の晩に続きいよいよ出立を前にしたその朝、別れを惜しんで詠じた送別の詩である。早春の雨あがりの朝のすがすがしさがバックになって、送別の情が浮きぼりにされて、友との別離の詩としては、古今一級の詩と云われている。

渭城の町には、夜来の雨が塵やほこりをしっとりと濡らし、旅館の前の柳は雨に洗われて一段と鮮やかである。さあ君、もう一杯飲もうではないか、西の方あの陽関を出てしまうと、もう酒を酌み交わせる親しい友はいなくなってしまうのだから……。

私は昨年の九月、太極拳の仲間とこの陽関に行って来た。

陽関は、あの広い中国大陸の西北部、はるか遠い所に位置する敦煌より、更に車で南に約一時間半砂漠の中を進んだところにあった。

盛唐の詩人、王維がこの詩を作った頃といえば、飛行機は勿論車も無い時代、当時の陽関は正に気の遠くなる様な遠い僻地、そこに使者として行く人、そしてそれを送った人、この時の双方の感情は如何ばかりであったであろうか。

今でも、広々とした砂漠の中にポツンと残る陽関（その昔のシルクロードにあった関所）、その陽関の地に立って、思わず仲間達とこの詩を大きな声で吟じ、当時の情景に思いを馳せたのであった。

武蔵野ラグビーまつりに参加しよう －早明OB戦－

平成19年12月1日（土）　場所　武蔵野陸上競技場

10時30分　親子ラグビー　講師　石塚武生（早大OB）
12時15分　早稲田大学 対 明治大学 OB戦
14時　懇親会

平成20年度 武蔵野稲門会・総会
平成20年6月7日（土）

会費納入のお願い

平成20年度武蔵野稲門会費2,000円を下記郵便局振替口座へお振込下さい。
加入者名：武蔵野稲門会　口座番号：00151－8－190961

広告のお願い

会報で広告を扱います。稲門会の会報をぜひ御利用下さい。
有志の方は事務局（FAX 0422(54)3122）までお申し出下さい。

同好会への御案内

皆様の入会歓迎。

(1) ゴルフ同好会
沖島祥介　0422(52)0680
(2) 囲碁
寺田昌弘　03(3928)8710
(3) 早稲田を応援する会
庄司駿一　0422(54)3858
(4) 旅行部会
小美濃隆　0422(43)4019
轟　常弥　0422(54)3122
(5) 病院、結婚情報
谷内隆衛　0422(79)2858
(6) クラシック音楽同好会
山本富士雄 0422(21)3950
(7) 俳句の会
中村幸子　0422(21)7537
(8) カラオケ同好会
山内　巌　0422(54)1475

会員の声

田中 久雄(昭31・理工)最遠地会員

このたび、編集の方から、「私と武蔵野」と云う、題で書いて下さいとの、依頼を頂きました。

実は、境の秋本喜七（村長）さんは、三鷹の渡辺万助さんのところから長女の養子に、秋本録之助(村長→町長)は、私の亡母マツエの伯父で、小金井村の船田家から次女の養子になりました。

秋本録之助町長の風貌とその業績（武蔵野市史より）

町長は自から町制を施行することによって、村長から町長に横すべりしたのである。

この人は武蔵野村の生れではなく、当時の小金井村の船田家に生まれ、秋本家の養子になった人で、秋本喜七とは夫人を姉妹としている。「体は小かったが、割合に肝玉が大きくて剛毅果断といいますか、一口にいうとそういう肌の人で、物事をはきはきやる方で、当時としては実行力あった人」、である。また「一名大久保彦左エ門という通称で通った。東京府議時代にも有数の人物で、頑固親父でなかなかきかなかったが、迫力はあった。山椒の粒みたいな小粒男ですが。」「気風からいうと、三多摩壮士の流れ、それを根本的に考えたらよい。」「なかなかの財政通でした。その当時は相当の繰越ができています。」尚、私の母は伯父の秘書として、手助けしたと聞いています。（武蔵野市史より）

ところで、小金井村の船田家についてですが、先祖は新田義貞の家老、船田義昌で、その後の武蔵野原の合戦後、定着したと思っています。

私は昭和八年二月に渋谷区代々木山谷で生まれました。その後父寛三郎が上野駅の助役になったので、南千住の官舎に転居し、次に新大久保駅の近く、淀橋区（今新宿区）百人町に家を借りていましたが、母マツエは昭和二十年五月二十五日の空襲により死亡しました。

当時私と妹のまさ子は、母の長兄で調布の俳人として知られた、船田唐草の家に疎開していました。しかも、「戦後間もなく、深大寺での句会に連れて行かれたこと」を今も懐かしく思い出しています。

俳句は十年前の平成九年一月号から「NHK 俳壇」を購読、結社には入らず自由に投稿しております。一時短歌に没頭しましたが、今は俳句が中心です。尚、父は昭和五十三年九月に、吉祥寺の森本病院で亡くなりました。

私は父の縁もあって、昭和三十三年三月修士課程終了と共に、信号メーカーの㈱京三製作所に入社しました。入社当初は、新製品の開発、販売を担当し、次に信号技術部の課長となり、最後は CAD 室長（部長）で退職しました。尚私の妻玲子は大学同期の山中健嗣の妹です。

妹まさ子の主人も、大学同期の親友渡会　猛です。彼は８ミリ映画に没頭しています。一度お会になったら如何ですか？

平成十九年十月二十日

新会員自己紹介

ふたつの思い　鈴木 武(昭53・理工)

「パパの後輩だね」と言いながら早実に入学した娘と共にテレビに釘付けになって甲子園の決勝を応援している内に、自分の学生時代の思い出が蘇ってきました。仕事の都合で、合計十三年間住んだタイの首都バンコク駐在から戻り、もう暫くは転勤もなかろうと思い半世紀以上住んでいる街とのコンタクトを増やしたいと思いはじめた事もあります。

そんな二つの思いが重なって武蔵野稲門会にまた参加させて戴きます（実はバンコクに赴任する前、随分と昔のことですが、一度総会に出させて戴きました)。

タイ駐在時代に毎週のように楽しんだゴルフもすっかり錆びてしまいましたが、これもまたやり直したいと思って居ります。

諸先輩の皆様と共に次はいつ校歌を御一緒に歌えるのか楽しみにして居ります。

どうぞよろしく御願い申し上げます。

よろしくお願いします　押田 紀昭(昭44・理工)

昭和 44 年理工学部は工業経営学科を卒業しました。今は経営システム工学科と名称を変えているようですね。少なくとも当時は、工業簿記をはじめ、労務管理、統計、品質管理から経済、電気実験など、とにかく非常に広範囲にわたる講座がありました。まさに「広く浅く（広くするためやむを得ず浅くですが)」学べる学科でした。

卒業後、デザインに興味があり広告代理店に就職しましたが、理系ということもあって情報系（今でいうなら IT 系）のビジネスの立ち上げからそれなりの規模になるまで、30 数年携わってまいりました。

現場として顧客の問題解決から会社の業務全般においてのいろいろな場面で、必要な用語その他が殆ど初耳ではなく、学生時代に一度は耳にしていたり学んだことが多かったということが、ずいぶん力になりました。

専門性の重要性は強く言われていますが、ハイブリッド時代を迎え、また自分の経験からも、このような学科がひとつくらいは存在していて欲しいと改めて思うこのごろです。いまはまた、全く異なる分野で活動しておりますが、広く（浅く）あれも知りたいこれも知りたいという変わらぬ欲求には、インターネットが即時に応えてくれます。ありがたいですね。

すごいこと　梶 雅子(昭39・教育)

39 期、教育学部卒業です。

高校時代から軟式テニスをしていて、入学式の日に甘泉園に行き入部するという、テニス漬けの毎日と、同時に入学した年が 60 年安保の年で、学部討論・全校集会などに参加し、デモにも参加するという、本当に大学生になったという実感のある、学生生活でした。

学生時代からの７人グループがあって、卒業後も、地方の生活のこと、子どものことなど何でも近況報告の連絡ノートを回していました。今は、全員東京近辺に住んでおり、１年に１回は会食をしながらおしゃべりを楽しんでいます。すごいことだと、自分たちで感心しています。

今、私は３期目の市議会議員として、市政が身近なものとなるように、生活者として市民の目線でみなさんの声を市政に届けられるようがんばっています。

英語、韓国語、中国語、イタリア語、パソコンの最高の先生を揃えてます！
当スクールは90パーセント女性なので、男性の生徒さん、大歓迎です！
詳しくはHomePageで　http://www1/parkcity.ne.jp/als/
アメリカン ランゲージスクール久我山校
井の頭線久我山駅サミットストア斜め前
TEL FAX 03(3333)5440
mail: alskugayama@aol.com
日・月定休　受付時間　午後2時～9時
野 村 洋 子(昭48年第一文学部卒)

東京カレッジ法律事務所
弁護士 福 原　弘
(昭和44年法学部卒。東京弁護士会所属)
〒105-0001
東京都港区虎ノ門１丁目13番４号　虎ノ門宝寿会館２階
TEL 03(3597)5755　FAX 03(3597)5770

「早稲田と私」

小松原 寛(昭37・法)

戦前から私の家は戸塚町一丁目、丁度戸塚球場の三塁側の塀に沿って建っていました。子供の頃の遊び場と云えば野球場・甘泉園・水稲荷・穴八幡そして大学構内です。エプロン姿の主婦が買物籠を持って大学キャンパスを往来していましたし誠に開放的な雰囲気でした。球場も戦後は周辺のネットも綻が目立ち、ファウルボールが我家の屋根瓦を直撃することも度々で雨漏りの原因になり母がよくこぼしておりました。しかし私の両親は岡山県の倉敷出身ですが母方の祖父は明治三十八年東京専門学校から早稲田大学になって一回目の法科の卒業、そして私の父は昭和五年大学部法科の卒業と早稲田に縁が深く、あまり文句も云えなかった様です。高校卒業後一浪し昭和三十二年第一法学部に入りましたが、当時父親の同期生が三人教授をしておられました。国際法の一又先生・商法の大野先生（確か当時は図書館長）・英語の酒枝先生です。私も三教授の授業を受けましたが、何か特別な親しみを感じた事を想い出します。大学五年在学早稲田での生活をエンジョーイいたしました。今でも自分を育んでくれた「心のふるさと」を誇らしく思います。卒業後大手建設会社に就職六年前に退職しました。稲門会に出ても知人は居ないだろうと思っていたところ横浜ロータリークラブで一緒だった梶塚先輩にお目にかかりなつかしく又出席に張が出ました。会員の皆様今後共よろしくお願いします。

ふたつの楽しみ

東出 重幸(昭32・法)

久し振りに武蔵野稲門会に出席いたしましたが、会の雰囲気が一変しているのには驚きました。色々な同好会が設立され、交流の場が広がっていました。早速私も２～３の同好会に入会し、大変楽しいをさせていただいて居ります。

さて、３年前に仕事を退き、悠々自適の生活ですが、60年近く続いている趣味にイタリアオペアの観賞があります。

昭和31年から51年にかけて、NHKが８回にわたりイタリアオペラを招聘し、延べ35公演を行いました。この時期が、まさに至福の時で、少くとも30公演は観ているものと思います。

第二回には、黄金のトランペット、デル・モナコがオテロを熱演し、劇場をゆるがす声に驚嘆しました。第六回には、先日亡くなったパヴァロッティが、リゴレットのマントヴァ公爵を歌いましたが、彼はまだ30代前半でした。

この公演を通じて、伝説となった多くの名歌手に接した体験は、私の掛け替のない財産になりました。

もう一つの楽しみは、投資信託の運用です。早朝の投資番組で、主要国の株価、為替、原油価格などをチェックし、月に４～５回は証券会社のセミナーに出席しています。

最近のセミナーで興味深かったのは、米国大学の財テクです。

全米約750校は、長年巨額の資金を運用し年平均10%の運用実績を上げています。

３兆円の運用基金を持つハーバードは、その基金から毎年４～５%を拠出し、これが年間総収入の30%にもなるとか。

全米の大学は、これ程の実績を挙げながら、運用秘策はなく、通常のマーケット情報のみで、愚直に長期分散投資を続けているにすぎないといいます。

これは、我々が今目指している投資の王道で、ただただ感心するばかりです。

一方、日本の大学の運用実績は、わずか1%とのこと、これでは、少子化の進む中、経営的に非常に苦しい状況になると考えますが、いかがでしょうか。以上

医療機関紹介（その３）

ホームドクター

谷内 隆衛(昭33・法)

10数年前から心臓に何か異常を感じるようになったが何度心電図をとっても問題なしといわれた。

しかし自身納得出来ないので市内でよい医師をとある人に頼んで紹介されたのが木下先生である。

木下循環器クリニック　本町1-33-6
0422－22－8300

先生の指示でホルダー心電図を着け往復徒歩２時間テニスを４時間やって診て貰ったが異常なしだった。

１年後にもう一度ということで同じようにやったら今度は明らかに異常が認められた。

近隣の大学病院の循環器内科によい医師が居るからと紹介して貰いそこでカテーテル検査を受けたところ大切な冠状動脈が糸のような細さになって居りいつ切れてもおかしくない状態といわれ労作性狭心症と診断された。

その医師の奨めで同じ病院の外科で１月初めにバイパス手術（６本）を行い経過も良好だったので３月末にはテニスを再開今日に至っている。

以来95歳の老母と60？歳の家内共々何かあると診断を受け文字通り我が家のホームドクターとなっている。

ホームドクターの条件は近くにあって適切な診断は勿論であるが、各医療機関の情報に詳しくかつ速やかに紹介してくれることにあるがこの点木下先生は申分なしである。

125周年記念式典で思ったこと

匿名子

10時より始った式典は荘重かつ粛々と進行し参列者による校歌の合唱も終って福田総理大臣の退席の際にである。

壇上の外国よりの59大学をはじめ国内の大学及び内外の来賓は一斉に起立し拍手で見送ったのに対し会場の校友達は拍手はするものの着席したままで立ち上がったのは我々など僅かであった。

それは白井総長を先頭に壇上の来賓達が会場中央の通路を退席して行くときも変らなかった。

何故来賓にならってスタンディングオベーションをしてくれなかったのか、母校出身のいやしくも一国の総理大臣に対して、そして外国人達がどう思ったのかを考えると何かさびしい気持で帰途についた。

不動産の売買・賃貸・管理・リフォーム
都知事免許(11)23754
株式会社 アコー
代表取締役 滝 本 尚 男
（昭和38年一法卒）
〒180-0022　東京都武蔵野市境2-11-22
（中央線「武蔵境駅」北口本町通りアコービル１Ｆ）
TEL 0422-51-3050　FAX 0422-51-3057

食事とお酒
カヤシマ
佐藤孝一（昭和56年商学部卒）
〒180-0004　東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-9
吉祥寺第一ホテル前
Tel　0422-21-6461
http://www.e-kayashima.com

寄稿

“武蔵野”

早稲田大学府中校友会会長　小室 修一(昭30・法)

“武蔵野の面影を残す”という言葉、近ごろではあまり聞かれなくなったような気がする。昭和の半ばまでは雑木林が特徴だったが開発により殆んどが失われた。今では、池と雑木林がかもしだす井の頭恩賜公園が身近な存在かも知れない。

武蔵野は、漢字も言葉も広大なイメージを持っている感じがするし、狭義でも東京を中心として、接続する平野の多摩川や荒川の支流入間川などの流域に属する地方の森林地帯であろう。

JR武蔵野線・武蔵野鉄道（西武池袋線の旧名）・武蔵野台（京王線）などがあるが、“武蔵野”は語呂がよく呼び易いと同時に郷愁の深い、Romanを感じ取れる読みである。

思い浮かぶのは、1950（昭和25年）年にベストセラーとなった大岡昌平の『武蔵野夫人』で、フランス心理小説の手法を取り入れ、さまざまな男女が入り乱れながら複雑な心理が交錯していく物語りであり、翌年の1951年には巨匠・溝口健二監督が、この原作をもとに映画化したが、「恋愛の平行四辺形」が武蔵野と重なって語られ、愛欲と嫉妬のドラマでもあった。

田中絹代、森雅之、木暮実千代、など懐かしい大物俳優が出演、文芸映画の域を超えたものに仕上げていると言われた。

武蔵野の高台に住む道子がヒロインで、従弟とただならぬ関係になったが、夫も見てみぬふりをして従兄の妻との不倫に走り…。

[土地の人はなぜそこが《はけ》と呼ばれるかを知らない。…

武蔵野夫人の書き出しです。

武蔵野の地理の詳細な背景のもとに《はけ》の象徴とも思わせる主人公道子を巡っての物語が展開する。

《はけ》は大地をくぐってきた自然水が、すべてを濾過されたように清水となって湧き出て大小の泉をつくっている。これが《はけ》であり、私が住んでいる府中にも《はけ》と呼ばれている場所が何箇所かあって、武蔵野の自然の広さを感じる。

大岡昌平は、小金井市の知人宅に寄寓し『武蔵野夫人』を書いていて、モデルとなったゆかりの場所、**はけの小道・ムジナ坂・蒼浪泉園**などがあり、機会をつくってゆったり散策をしたいと思っている。

大学ラグビー春の練習試合（対関東学院大）観戦記

池田 俊雄(昭54・理工)

7月1日（日）夕暮れ時、我が武蔵野稲門会『早稲田を応援する会』の精鋭？メンバー4人が横浜三ツ沢競技場に集結した。スタンドには春の練習試合とは思えないほど、多くの観衆で埋めつくされていた。昨年度の大学選手権では、宿敵関東学院大に大学日本一3連覇を阻まれたことは記憶に新しいところであるが、今年度の新生「権丈組」が再起をかけ、どれだけ成長したかを占える試合でもある。

試合開始と同時に、早稲田のフィフティーンはグランドを所狭しと走り回り、ディフェンス面でも低いタックルとチームディフェンスにより、関東学院大の攻撃の芽を早い段階で摘むなど、今シーズンにかける早稲田の意気込みが前面に出ていた。結果、前半は17－0で終了した。

後半に入っても、勢いは止まらず、特にフォワードはスクラム、モールとも強力な関東学院大のフォワードをたびたび圧倒するなど、練習の成果が発揮できた試合展開であった。結果は38－0の完勝であった。

試合終了後も、武蔵野までの長い道のりも全く気にならず、観戦メンバーは試合談義に花を咲かせながら、今シーズンの健闘を祈念していた。この一戦を糧に、悔いの無いシーズンを送ってもらいたいと、期待している。

観戦者：小美濃隆、庄司駿一、川崎大八、池田俊雄

記念事業募金

早稲田大学創立125周年記念事業募金にご協力お願いします。

お振込先

郵便局振替口座

加入者名　早稲田大学創立125周年記念事業募集口

口座番号　00140-0-177276

もしくは

加入者名　武蔵野稲門会

口座番号　00110-7-173626

カラオケ部会の活動

昨年7月から再開し、現在7回の活動を行なっています。2ヶ月に1回のペースで進めてまいりました。

部員は30名ぐらいですが、常時10名前後の方が参加され、アットホーム的な雰囲気で歌いそして飲んでいます。

揚所はT先輩のビルの地下で、機材一式をお借りして行なっています。歌の上手な方は勿論ですが、勉強中の方も居られます。飲み、食いも一人約2千円程度その都度徴収し、ビール、ワイン、酒、焼酎等とつまみを準備して行ないます、部会長の私は毎回同じ歌で進歩がありませんが、会をまとめていくにはこの程度が良いのではと思ってます。稲門会会員の親睦がはかれ、そして情報交換の場になれば充分だと考えてます。

活動は奇数月の後半に行なうようにしてますので参加を希望される方は私の方に連絡下さい。

武蔵野稲門会　カラオケ部会長
山内　巖(昭43・理工)

編集後記

皆様、原稿広告ありがとうございました。小室様、原稿ありがとうございました。

川崎大八(昭42・理工)

木島・堀法律事務所
弁護士　堀　裕一
(昭55年法学部卒。第二東京弁護士会所属)
〒105-0003
東京都港区西新橋1丁目6番15号　西新橋愛光ビル10階
TEL 03(3500)5811　FAX 03(3502)8971
E-mail: hori@kijima-hori-law.com

総合建設業
新築・リフォーム・耐震補強
沖島工業株式会社
〒180-0006　東京都武蔵野市中町3-1-2
TEL 0422-52-0909　http://www.okishima.co.jp